

## 青丘文庫研究会 月報

No.304

2025年1月1日

青丘文庫研究会 〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22 (公財)神戸学生青年センター内  
TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019 <https://ksyc.jp/sb/> e-mail [hida@ksyc.jp](mailto:hida@ksyc.jp)  
①在日朝鮮人運動史研究会関西西部会 (代表・飛田雄一)  
②朝鮮近現代史研究会 (代表・水野直樹)  
郵便振替<00970-0-68837 青丘文庫月報>  
年間購読料 3000 円。在日朝鮮人史研究関西西部会会費 5000 円/年 (雑誌 3 冊を入手できます。)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。

在日朝鮮人運動史研究会関西西部会 (代表・飛田雄一)

朝鮮近現代史研究会 (代表・水野直樹)

## 「民主と愛国」—韓国大統領弾劾運動と 光州民主化運動における「太極旗」と「愛国歌」

坂本悠一

去る12月3日(皮肉にも「5.18運動」被害者が精神的損害賠償訴訟に勝利した翌日)の尹大統領による「非常戒厳令宣布」は、一般に「晴天の霹靂」のように報じられているが私見によれば否である。22年の大統領選挙での僅差の「勝利」と今年4月の総選挙での大敗による野党の攻勢によって、尹政権は既に閉塞状況に追い込まれていた。ちなみに7月の「朝鮮中央通信」は、「尹大統領の弾劾は必至」と論評していた。今回の強硬策は、「やられる前に機先を制す」という乾坤一擲の賭けだったのであると思ってしまう。僅か6時間で撤回を余儀なくされ、14日には与党の造反もあって弾劾が成立し、「返り血」を浴びて自らの政治生命を断たれるに至ったという、お粗末な振る舞いであった。加えて27日には大統領代行の韓国務総理まで弾劾され、「無政府」状態に陥り政局は五里霧中となっている。

今やニュースの映像もSNSで瞬時に拡散されるご時勢なので、弾劾賛成派と反対派の掲げるシンボルに注目したい。宣布当日から連日に涉って賛成派は国会前、反対派は市庁前で集会を開いているが、その参加規模の落差はともかくとして、彼ら/彼女らの手にするアイテムは極めて対照的である。賛成派には「太極旗」は見当たらず、朴大統領弾劾運動時の「蠟燭」も早くも姿を消し、いわゆる「押し活」で使われるペンライトとプラカードが圧倒的で、かつK-popの鳴り物入りだ。やや気掛かりは後方に翻る「赤旗」だが、10日付『神戸新聞』に寄稿した木村幹教授が「労働組合旗」と書いていたので、24日の立命館大学コリア研究センターの緊急シンポに駆け付けてくれた際に尋ねてみると、「韓国の労組は赤旗でなく青旗」だと断言され、思わず呆気に取られてしまった。件の赤旗が「民主労総」であれば、尹大統領が右派Yu-Tuberに吹込まれたと噂される「アカ(빨갱이)の陰謀」説もさもありなんとの推定は杞憂ということなのか? かたや反対派のシンボルが「太極旗」であるのは既視感の範囲内だが、米国旗を片手に持って振っているのには違和感を覚えるしかない。

日本でも2007年に公開された映画「光州 5.18(原題「화려한휴가」)」の映像を再確認すると、以下の如くだ。①全羅南道庁前の市民デモ=「愛国歌」でスローガンを叫ぶ。②遺体安置所の棺=「太極旗」で覆われる。③全羅南道庁屋上=市民軍が「太極旗」と弔旗を掲揚、の順にシーンが展開している。この点は、真鍋祐子『増補・光州事件で読む現代韓国(2010・平凡社)』でも指摘されている。すなわち、「戒厳軍を前に素手で戦えないと判断した人びとは、郊外の武器庫から武器を奪取して、市民軍を結成し、戒厳軍撤収後の道庁へと凱旋してきた。…太極旗をはためかせながらジープを駆り、車上で運動歌謡をうたい、沿道の市民から拍手で迎えられる差し入れの食料を渡される。p.126」。更に今大注目の作家である韓江『少年が来る(訳書2016)』の記述も引いておこう。「腑に落ちなかったことの一つは、追悼式で遺族が愛国歌を

歌うこと…柩の上に必ず太極旗を広げ、紐でくくり付けているのも変だと思った。軍人が殺した人々にどうして愛国歌を歌ってあげられるのだろうか。どうして 太極旗で柩を包むのだろうか。井出俊作訳・クオン p.22」

これらの心情に私自身も共有できる理由は、かつて釜山で「화려한휴가」を見てショックを受けて現地光州訪れ、全南大学の知己の案内で道庁舎や追悼公園を踏査したことがあり、偶然にも事件当時の全南大学長であり当時は5.18研究所顧問職だった学者に出会い、詳しい解説を受けることができたという体験を持っているからであろう。

真鍋祐子教授が20日付『朝日新聞』で的確に指摘しているように、1987年現行憲法第8条第1項が「政党設立の自由」を保障(但し第4項「憲法裁判所による解散」を規定)しているにも拘わらず、48年の「国家保安法(80年一部改訂)」が厳然としてとして効力を有している。補足すれば2014年には実際に「統合進歩党」に解散命令が下され国会議員5名が失職している。つまり今や少数派であるとはいえ、保守派の政治テーゼは今尚「反共親米」であることを銘記すべきであろう。片手に태극기、片手に Stars&Stripes というというスタンスも、当事者的には何らの痛痒も感じないのであろう。今回も戒厳軍が中央選管を襲撃したということは、「投票が盗まれた」という米国トランプ派の言動を想起させる。

残念なことではあるが、「血と汗で闘い取った民主主義」と言われる韓国のそれは、「自由と民主主義の価値観を共有」を謳い文句にする日本+米国型の Democracy=白井聡+内田樹『属国民主主義論』(東洋経済・2016)の許容範囲に留っており、「思想・信条・結社の完全な自由」を欠いている点では劣ると評価せざるを得ない。近年は「民主主義 vs 専制主義」が喧伝される傾向にあるが、欧州諸国=仏(RN)・独(AfD)・英(R-UK)のような右派 populist の台頭に鑑みれば、「民主主義 Democracy」の「形式 Form」ではなく「内容 Contents」をこそ検証すべきで好機はないだろうか。この点については、UN 軍傘下にある「戦時統帥権」にも言及した拙稿『経済科学通信』(No.147 Jan. 2019 p.p.10-17)PDFfile を参照されたい。

2024.12.30

새해복 많이 받으세요!

## <青丘文庫研究会の記録>

月報が2024年5月以来の発行となってしまいました。この間、メールニュースを発行していました。メールニュース希望の方は、飛田雄一 hida@ksyc.jp までメールをお願いします。以下、のちのちの青丘文庫研究会歴史のために以下記録を掲載しておきます。

- ・ 5月12日(日) 在日(青丘文庫で在日映画試写会、①倭奴(イエノム)へ 在韓被爆者・無告の二十六年 1971年/52分/②倭奴へ それから 2018年/40分。近現代史は休み。
- ・ 6月9日(日) 午後2時～在日(松下佳弘「1949年の朝連・民青の地方組織に対する財産接収措置—滋賀県における事例から—」、午後3時半～近現代史(水野直樹「1946年ピョンヤン普通江改修工事の政治的意味—「民主朝鮮のソウル」を建設せよ—」)
- ・ 7月14日(日) 午後2時～、在日(韓光勳「朴慶植による朝鮮人虐殺の調査をめぐって」)、午後3時半～、近現代史(松坂裕晃「植民地期朝鮮の社会主義の越境性—インドとブラック・アメリカに関する言論を事例として」)
- ・ 8月23日(金)、日韓合同在日研究会、韓国大邱・慶北大学。
- ・ 9月8日(日) 午後2時～在日(趙正熙「崔承喜の神戸公演」)、午後3時半～近現代史(堀内稔「朝鮮時代の金台郁(菊田一雄)—藤森成吉の小説等を中心に」)
- ・ 10月13日(日) 在日午後2時～(金裕賢「朝鮮学校と日本人市民の支援団体の関係性について」)、近現代史午後3時半～(「1930年代、李北満ら朝鮮人による『アジア的生産様式』について」池山一男)
- ・ 11月10日(日) 在日(神戸映画資料館で在日映画)、近現代史は休み。
- ・ 12月8日(日) 在日(午後2時①太田修「1950年代日本政府の在日「特権」論」、午後3時半②金由地「指紋押捺拒否運動はいかにして外国人登録法を「攪乱」させたのか—社会運動論の見地から」、近現代史はお休み。

【おしらせ】

- ・ 2024年度（4～2025年3月）の会費をお願いします。青丘文庫研究会は①在日朝鮮人史研究関西西部会と②朝鮮近現代史研究会の総称です。年会費は3000円、印刷版の月報および青丘文庫会員証をお届けします。但し学生会員で印刷版月報の不要な方はこの会費が不要です。飛田までその旨連絡ください。①在日研究会は別途5000円の会費が必要です。この会員には、年1回発行の『在日朝鮮人史研究』が3冊送られます。送金先はいずれも郵便振替<00970-0-68837 青丘文庫月報>です。

<「在日朝鮮人史運動史研究会」54号・ごあんない>

2024年10月、A5、190頁、発行：緑蔭書房、2400円+税  
 ※定価2640円ですが、送料とも2160円で配布します。  
 前金で、<00970-0-68837 青丘文庫月報>に2160円をご送金ください。  
 (もくじ)

- 京都市梅津地域の近代と朝鮮人労働者 高野昭雄
- 社会政策審議会と朝鮮人渡航問題(二) 福井 謙
- 「朝鮮人遺骨問題」はどのように取り組まれてきたのか
- 八・一五以後、日韓条約締結前後までの展開を中心に 小林知子
- 濟州四・三からみた日本の分断責任 吉澤文寿
- 《資料紹介》
- 労働省調査「朝鮮人に対する賃金未払債務調」(抜粋) 長澤 秀
- 《書評》
- 山口祐香『「発見」された朝鮮通信使
- 在日朝鮮人歴史家・辛基秀の歴史実践と戦後日本』 韓光勲

戦前の県内朝鮮人の歩み  
 を記した「兵庫と朝鮮人  
 こぼれた歴史を拾って」が  
 出版された。阪神間や神戸  
 市などの朝鮮人の社会運動  
 や生活実態を当時の新聞記  
 事を基に紹介。著者で、朝  
 鮮半島の歴史や文化を学  
 ぶ市民サークル「むくげの  
 会」のメンバー堀内稔さん  
 (77)は神戸市東灘区は  
 「戦前の朝鮮人の史料は  
 少なく、記録に残す必要が  
 ある」と思いからまとめ  
 た」と話す。

堀内さんは京都府舞鶴市  
 出身で、神戸市外国語大生  
 時代にベトナム戦争の反戦

団体「ベ平連神戸」に参加。  
 当時、県内で部落差別への  
 糾弾闘争が盛んになり、内  
 部に差別問題の研究会を立  
 ち上げた。1971年には  
 同会を母体にむくげの会を  
 結成し、朝鮮をテーマにし  
 た機関誌「むくげ通信」を  
 隔月で発行してきた。

今回の著書はむくげ通信  
 の連載をまとめたもので、  
 土木工事に従事したり、教  
 育の普及に努めたりした朝  
 鮮人を取り上げている。明  
 治時代の政治家朴泳孝が亡  
 命中の神戸で私塾を開いた  
 ことや、濟州島出身の海女  
 が神戸港に沈む鉄くずを集



著書「兵庫と朝鮮人」を手にする堀内  
 稔さん(神戸市東灘区本山南町8)

むくげの会・堀内さん、県内の記録を出版

戦前の朝鮮人社会史を本に

堀内さんは「戦前の朝鮮人の生活を知ること、現代の差別問題などを考えるきっかけになれば」と語る。

した経緯などについて掲載している。

8  
 円(税込み)。むくげの会  
 078・891・301  
 (池田大介)

2024.11.29 神戸高橋

<むくげの会より>

1) 堀内稔『兵庫と朝鮮人—こぼれた歴史を拾って—』(むくげの会発行、A5、219頁、1650円、2024年9月) 目次等は、<https://ksyc.jp/mukuge/horiuti-honn2.pdf>  
 むくげの会では、送料当方負担で、1650円で販売します。購入希望者は、郵便振替<

01120-5-46997 むくげの会>に前金で送金してください。ご入金確認後にお送りします。

2) 『むくげ通信』50年分/1号(1971.1)～308号(2021.9)のPDFファイル版をUSBで販売します。5000円。送料別。希望者は、飛田 hida@ksyc.jp まで連絡ください。

3) むくげ通信合本2023年版、本体価格1100円、購入希望者は、前金郵便振替でよろしく。2021年版、2022年版もあります。

4) 猪飼野地域新聞『おならら復刻版』(むくげ簡易印刷版叢書②)2024年9月、定価:本体900円+税、むくげの会では、990円(送料、会負担)発売。前金、郵便振替で送金をよろしく。郵便振替<01120-5-46997 むくげの会>



## NGO神戸外国人救援ネット 30年誌

2025年1月17日発行 A4 452頁 2200円

編集: NGO神戸外国人救援ネット

発行: 神戸学生青年センター

### <内容>

第1章 講演録/飛田雄一、シスターマリア、鳥井一平

第2章 活動記録

第3章 ニュース再録 1995年～2024年

第4章 新聞記事(阪神淡路大震災と外国人)

※救援ネット、学生センター、Amazonで購入ください。

## ●青丘文庫研究会●

2025年1月12日(日) 午後2時～5時

1月12日

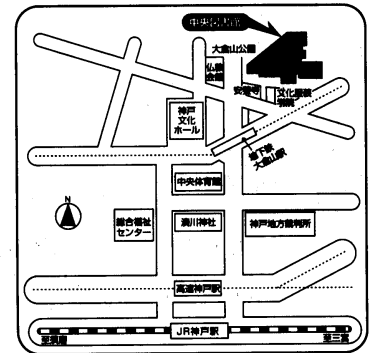
<在日朝鮮人史研究関西部会>午後2時

「関東大震災朝鮮人虐殺に関する調査・追悼運動  
——1960～70年代の日朝協会を事例として」  
韓光勳

<朝鮮近現代史研究会>午後3時半

「崔承喜の『リリックポエム』:大阪第1回公演(1935.10.25.)取材記」  
趙正熙

会場 青丘文庫(神戸市立中央図書館内、TEL 078-371-3351、新館3階で身分を証明するものだして入館証を受け取り4階会議室にお越しください。)



### 【今後の研究会の予定】

- ・ 2月9日(日) <予定です> 在日(午後2時～①在日映画会(金稔万担当)、午後3時半～②金裕賢「朝鮮学校「支援」の歴史的系譜」(仮題)、近現代史はお休みです。
- ・ 3月9日(日) 在日(未定)、近現代史(未定)
- ・ 4月13日(日) 在日(未定)、近現代史(未定)
- ・ 5月11日(日) 在日(未定)、近現代史(未定)

※報告希望者は、飛田または水野直樹に連絡ください。